

科目名		プレゼンテーション 2							年度	2025	
英語科目名		Presentation 2							学期	後期	
学科・学年		CG映像科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員		鈴木(洋)		教員の実務経験		有	実務経験の職種		映像プロデューサー		
【科目の目的】 映像企画の立て方、ストーリーの構築方法について学びます。											
【科目の概要】 進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。また、自己表現のツールとして重要なポートフォリオ（作品集）について研究し、実際に作品をまとめる作業を行っていきます。											
【到達目標】 優れた先人達の映像理論やテクニックを学び、名作映像作品の素晴らしさを知る。企画立案、脚本、絵コンテ制作、撮影、編集、CG制作、VFX、音響などの基礎知識を身につけ、テレビ業界や映像制作会社における仕事についても学び、実践的な知識を身につける。映像作品に対しての客観的視点を持つことで、視野を広げ自身の作品制作に役立てることを目標とする。											
【授業の注意点】 理由のない遅刻、欠席は認めない。授業時限数の4分の3以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止とする。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受ける事への妨害行為となる事から厳禁。専門学校は専門知識や技術の習得だけでなく目的とするものではなく、学生から社会人への移行の場でもある。社会人としてのマナーや心構えも身につける事。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価		レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A		企画の立て方の基本、テーマと主題の違い、企画書の書き方の基本についての深い理解がある		企画の立て方の基本、テーマと主題の違い、企画書の書き方の基本について理解している		企画の立て方の基本、テーマと主題の違いについては理解しているが、企画書の書き方の基本について理解が浅い		企画の立て方の基本、テーマと主題の違い、企画書の書き方の基本について全体的に理解が浅い		企画の立て方の基本、テーマと主題の違い、企画書の書き方の基本について理解していない	
到達目標 B		三幕構成について深く理解しており、各ステージで書かなくてはならない事についての知識があり、パラダイムを作る事ができる。		三幕構成について理解しており、各ステージで書かなくてはならない事についての知識があり、パラダイムを作る事ができる。		三幕構成について理解しており、各ステージで書かなくてはならない事についての知識があるが、パラダイムを作る事ができない。		三幕構成について理解しているが、各ステージで書かなくてはならない事についての知識が浅く、パラダイムを作る事もできない。		三幕構成について理解しておらず、各ステージで書かなくてはならない事についての知識がなく、パラダイムを作る事ができない。	
到達目標 C		アイディアの具現化プロセス、ドラマの構造、ジャンルについての深い理解があり、シナリオを書き出す準備が整っている。		アイディアの具現化プロセス、ドラマの構造、ジャンルについて理解しており、シナリオを書き出す準備が概ね整っている。		アイディアの具現化プロセス、ドラマの構造、ジャンルについて理解はしているものの、シナリオを書き出す準備は整っていない。		アイディアの具現化プロセス、ドラマの構造、ジャンルについて理解が浅く、シナリオを書き出す準備が整っていない。		アイディアの具現化プロセス、ドラマの構造、ジャンルについて理解しておらず、シナリオを書き出す準備が整っていない。	
到達目標 D		キャラクター造形、プロットやトリートメントの書き方、インデックスカードやボードの使い方についての深い理解がある。		キャラクター造形、プロットやトリートメントの書き方、インデックスカードやボードの使い方について理解している。		キャラクター造形、プロットやトリートメントの書き方は概ね理解しているが、インデックスカードやボードの使い方についての理解が浅い。		キャラクター造形、プロットやトリートメントの書き方についての理解が浅く、インデックスカードやボードを使いこなす事ができない。		キャラクター造形、プロットやトリートメントの書き方、インデックスカードやボードの使い方について理解していない。	
到達目標 E		スティーブン・キングの創作法について深く理解し、ストーリーを作り上げる上で必要な知識やテクニック、リライト法などを自分のものになっている。		スティーブン・キングの創作法について理解しており、ストーリーを作り上げる上で必要な知識やテクニック、リライト法などを身につける準備が整っている。		スティーブン・キングの創作法について概ね理解しているものの、ストーリーを作り上げる上で必要な知識やテクニック、リライト法などについてやや知識が浅い。		スティーブン・キングの創作法についての理解が浅く、ストーリーを作り上げる上で必要な知識やテクニック、リライト法などについて知識が浅い。		スティーブン・キングの創作法について理解しておらず、ストーリーを作り上げる上で必要な知識やテクニック、リライト法などが身につけていない。	
【教科書】 毎回プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題50%完成した企画の完成度について評価する。 平常点 50%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		プレゼンテーション 2			年度	2025
英語表記		Presentation 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	PLANNING①	映像企画の立て方の基本を学ぶ	1 企画を立てるコツ	企画を立てるコツを知る	3	
			2 テーマを持つ	テーマと主題の違い		
			3 三つの鍵	ストレクチャー／独創性／マーケティング		
2	PLANNING②	CONNECTION	1 普遍的なテーマ	5つの普遍的なテーマについて知る	3	
			2 欲求	7つの欲求について知る		
			3 観客とのコミュニケーション	作品を通して観客とコミュニケーションを取る方法について		
3	PLANNING③	企画書の書き方	1 企画の具現化	企画書のフォーマットについて知る	3	
			2 タイトル／テーマ／設定	タイトルやテーマ、設定の作り方		
			3 イメージボード	イメージボードを作る意義		
4	STORY ANALYZE①	三幕構成①	1 三幕構成の全体像	三幕構成とは何か	3	
			2 第一幕（設定）	第一幕で書かなくてはならない事		
			3 ターニングポイントⅠ	第一幕のターニングポイントについて		
5	STORY ANALYZE②	三幕構成②	1 第二幕（対立・衝突）	第二幕で書かなくてはならない事	3	
			2 ピンチ	第二幕のピンチについて		
			3 ターニングポイントⅡ	第二幕のターニングポイントについて		
6	STORY ANALYZE③	三幕構成③	1 第三幕（解決）	第三幕で書かなくてはならない事	3	
			2 クライマックス	クライマックスについて		
			3 エンディング	エンディングについて		
7	シナリオ基礎①	アイディアの構築	1 何を書くかを知る	ジャンル、テーマなどを決め、書き出しの出発点に立つ	3	
			2 ログライン	ストーリーの要約を一行で書く		
			3 アイディアの具現化	具現化のプロセスを知る		
8	シナリオ基礎②	シナリオの構成	1 ドラマの構造	代表的なドラマの構造について知る	3	
			2 メインキャラクター	主人公、仲間、敵の描写法		
			3			
9	シナリオ基礎③	ジャンル	1 ジャンル①	スナイダーによる10のジャンルについて①	3	
			2 ジャンル②	スナイダーによる10のジャンルについて②		
			3 ジャンル③	スナイダーによる10のジャンルについて③		
10	シナリオ基礎④	キャラクターの創造	1 タイプ	欲求、ものの考え方、変化について	3	
			2 人生年表	登場人物たちの人生年表を作る事の必要性		
			3 会話	会話（セリフ）の役割について		
11	シナリオ基礎⑤	プロット	1 プロットとは	プロットとストーリーの違い	3	
			2 トリートメント	トリートメント（シノプシス）の書き方		
12	シナリオ基礎⑥	物語の組み立て方	1 インデックスカード	インデックスカードを使った構成方法	3	
			2 ボード	ボードを使った構成方法		
13	スティーブン・キングの小説作法①	小説を書く上で必要な事	1 語彙／文法	語彙の使い方、好まれる文法について	3	
			2 文章作法	読みやすい文章について		
			3 読書	読書の重要性について		
14	スティーブン・キングの小説作法②	執筆	1 初稿	初稿の書き方	3	
			2 ジャンル	ジャンルの選び方		
			3 小説の要素	叙述、描写、会話について		
15	スティーブン・キングの小説作法③	リライト	1 人物造形	キャラクターを作るコツ	3	
			2 ストーリーテリング	物語の語り方		
			3 見直し作業	リライト作業の実際		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等 指定の実習室・教室で受講する。